

# 施策マネジメントシート

作成日 平成 29 年 6 月 22 日

施策	美しい環境を大切にする社会づくり		
施策 主管課	環境推進課	氏名	中山 勲
施策 関係課	まちづくり整備課		

## 1. 現状把握 Plan→Do

### (1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ◇ごみ ◇市民	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)
	a 一般廃棄物の総量(生活系+事業系) トン
	b 資源ごみ(生活系)の総量 トン
	c 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)> 人
② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか) ◇減量化が進む。 ◇再利用が進む。 ◇環境問題に対する意識が高まり、エコ活動に取り組む。	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)
	d 生活系可燃ごみの減量率 %
	e 住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付件数 件
	f エコ活動に取り組んでいる市民の割合 %
	g
	h
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇ごみ減量化・再利用化については、市民の取り組みが顕著に表れる生活系可燃ごみの回収量を、H16年と比較して、どれだけ減ったかで判断する。 ◇エコ活動の取り組みは、自然エネルギー利用施設設置補助の状況により、一定の成果を判断する。	⑥ 成果指標の取得方法 ◇生活系可燃ごみの軽減率・住宅用太陽光システム設置費補助金交付件数は、環境推進課のデータを集計・算出する。 ◇まちづくり基礎調査⇒設問「あなたは、日ごろからエコ(環境)活動に取り組んでいますか。(例:電気をこまめに消す、マイカーの利用を控える)」に対する分布割合から算出する。

			23年度 実績、決算	24年度 実績、決算	25年度 実績、決算	26年度 実績、決算	27年度 実績、決算	28年度 実績、決算	29年度 最終目標	
対象 指標	a 一般廃棄物の総量(生活系+事業系)	見込み値	19,563	19,836	19,990	19,938	19,886	19,834	19,782	
		実績値	19,991	19,939	19,904	20,334	20,440	20,411		
	b 資源ごみ(生活系)の総量	見込み値	3,781	3,932	3,934	3,934	3,934	3,934	3,934	
		実績値	3,932	3,939	3,809	3,722	3,564	3,316		
c 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)>	見込み値	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000		
	実績値	72,192	72,145	71,724	71,132	70,749	70,599			
成果 指標	d 生活系可燃ごみの減量率	成り行き値	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0	
		目標値	31.0	33.0	29.0	30.0	31.0	32.0	38.0	
		実績値	28.0	28.0	30.0	30.0	29.2	30.1		
	e 住宅用太陽光発電システム設置費補助金交付件数	成り行き値	182	371	370	360	350	340	330	
		目標値	250	360	420	400	380	360	100	
		実績値	371	437	274	210	125	97		
	f エコ活動に取り組んでいる市民の割合	成り行き値	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	73.0	
		目標値	74.0	75.0	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	
		実績値	78.3	77.6	77.2	-	-	-		
	g	成り行き値								
		目標値								
		実績値								
h	成り行き値									
	目標値									
	実績値									
施策コスト	事務事業数		本	13	13	23	23	26	24	
	施策に係る事務事業のコストの合計(評価外を含み、繰越分を除く)	事業費(A)		千円	870,559	1,024,429	952,486	1,061,612	2,305,913	3,071,609
		うち一般財源(A')		千円	792,732	836,554	792,489	818,947	911,941	846,489
		人件費(B)		千円	51,293	51,255	48,521	50,026	71,896	68,037
		トータルコスト(A+B)(C)		千円	921,852	1,075,684	1,001,007	1,111,638	2,377,809	3,139,646
		うち一財(A'+B)(C')		千円	844,025	887,809	841,010	868,973	983,837	914,526

### (3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

●後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。

◇生活系可燃ごみの減量率は、基準年度の平成16年度対比で、目標数値の設定をしている。ここ数年の取り組みをもっても、減少幅は微減である。現状の施策等を鑑み努力目標として、H24年度以降毎年1%の削減とした。平成29年度の目標値について、有料指定ごみ袋を導入による、減量率の上方修正を行った。

◇太陽光発電システム設置補助は、買取り価格がH24年度をピークに下落方向へ推移しており、それに比例し補助金交付件数も減少する見込みであるが、推進を図り減少数を概ね20件に留める目標を定めた。事業普及に伴い申請件数が減少しているため平成29年度目標値の下方修正を行った。

◇「エコ活動に取り組んでいる」市民の割合を、まちづくり基礎調査から抽出。H22年度実績値72.7%を基準値設定。実績値は毎年増減があるが、努力目標数値として、毎年取り組んでいる割合を、1%増加させることを目標に定めた。

### (4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

<p><b>ア) 住民の役割 (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと)</b></p> <p>◇市民は、指定されたごみ袋を適切に活用し、ごみの減量に取り組む</p> <p>◇環境に対する意識を持つ。ごみの減量や分別、資源化に取り組む。</p> <p>◇事業所は、エコ活動推進に取り組みながら、廃棄物を正しく処理する。</p>	<p><b>イ) 行政の役割 (市・県・国がやるべきこと)</b></p> <p>◇市は、家庭ごみの収集・処理を行う。</p> <p>◇太陽光発電促進のため新規住宅用設置者に対し支援する。</p> <p>◇ごみ減量や地球温暖化防止に向けた啓発活動を行う。</p> <p>◇不法投棄防止のための活動を行う。</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

◇分別方法や収集回数が統一され、コスト削減や利便性の向上につながっている。◇市内大型スーパーにてレジ袋有料化の実施や生ごみの堆肥化が促進され、廃棄物の発生抑制と資源化に対する市民意識が向上している。◇境川町にごみ処理場の建設を平成28年度完成を目指して進めている。◇家庭用太陽光発電システムの設置に対して国・県・市の支援が進められている。◇平成29年度末をもって事業を終了することが決定されている。◇H22年度に「ごみ減量協働プラン(計画年度H23～H27)」を策定した。◇H22年度に環境基本条例を制定し、「環境基本計画」を策定した。◇H24年度末には環境経営システムである「エコアクション21」の認証を笛吹市役所が取得した。◇平成28年10月から有料指定ごみ袋を試行し、平成29年4月1日から完全実施とする。◇平成29年4月から有料指定ごみ袋を導入した。

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

◇市民から、粗大ごみ回収日を増やしてほしいとの意見がある。◇市民から、いつでも出せるリサイクルステーションを作してほしいとの意見がある。◇行政区役員から、当番の出労の関係で、ごみ収集の頻度が増えないよう要望がある。◇有料指定ごみ袋の導入により不法投棄が懸念されるので厳しく監視してほしい。◇有料指定ごみ袋の金額に際して、根拠などを示してほしい。

2. H28年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

Table with 2 columns: Evaluation criteria (e.g., target achievement, time series comparison, comparison with other municipalities) and Background/Context (e.g., reduction rates, resource recovery, solar panel installation).

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

Table with 6 columns: Target name, Unit, 26th year, 27th year, 28th year, Efficiency evaluation. Rows include unit costs for materials, labor, and total costs.

(3)施策の現状と課題の総括

◇近年、資源を大切に循環型社会の構築に向けた取り組みが進んでおり、笛吹市においても、生活系可燃ごみ減量53%の取り組みを進め、平成28年度は、基準年度の平成16年度の対比で減量率は30%となっている。平成27年度と比較すると若干増加している横ばいの状況である。目標とする53%の減量率の達成は出来ていない状況であるが、平成29年4月から稼働した、甲府・峡東クリーンセンターの事業開始に伴い、有料指定ごみ袋の導入も実施したことから減量率は伸びると予想されるが、今までより更にごみの分別化を推進する。また、今後更に廃棄物の減量率を伸ばすためには、ごみの発生抑制と資源化のための分別収集の徹底や生ごみの水切りの徹底及び堆肥化をより一層促進する必要がある。

3.後期基本計画の取り組み方針(30年度) Action

(1)現状と課題から導き出した次年度の取り組み方針

◇ごみ減量については、生活系可燃ごみの中で組成割合の高い生ごみ処理対策に重点をいおき、取り組む必要がある。◇生活系可燃ごみの組成調査から、まだまだ資源物の混入や、一部事業系ごみの混入も見受けられるため、市民や事業者に対して、ごみ資源の循環利用を促す。◇平成29年4月からの有料指定ごみ袋の導入により、不法投棄の増加が懸念されることから、防止のための活動強化に努める。◇自然エネルギーの活用により、電源の自給自足、地産地消を目指し、地球温暖化防止につながる事業推進を図る。

(2)施策の対象を、目標に導くための次年度の手段

◇地区説明会、広報紙等の媒体、更には店頭キャンペーンなどを実施し、生ごみの水切りの徹底や、資源物の分別を呼びかけるとともに、小中学校等での環境教育を実施する。◇不法投棄防止の看板の設置や、不法投棄パトロール員を設置するとともに、監視カメラの導入を進め、不法投棄物に多い家電製品やタイヤなどの収集に取り組む。◇平成29年4月からの有料指定ごみ袋の導入により、生活系可燃ごみの削減が図れるよう周知を徹底する。また、可燃ごみの分別が適正に行われるよう地区分別説明会を実施する。◇平成29年度はエコアクション21を継続して進め、他の事業者の模範となるようにするが、認証団体については見直しを検討する。